

障害のある人と考える 舞台芸術表現と 鑑賞のための講座

企画実践編 入門編

『障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座』2023年9月開講

文化・芸術に関するイベント等を企画する一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONALは、文化庁委託事業『「令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業」障害当事者の劇場・文化施設での芸術鑑賞及び体験を充実させる施設職員とアーティストの育成プログラム』として『障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座』を2023年9月より実施します。

「ダイバーシティ」や「インクルージョン」、「合理的配慮」などの言葉が溢れる昨今、障害当事者への舞台芸術分野に関してはまだまだ十分な芸術体験が確保されていないという現状があります。福祉領域の現状について理解を促し、講座や上映会、視察や企画実践を通じて、福祉と芸術に精通した有識者とネットワークで繋ぐことで、文化施設や芸術団体の制作者やアーティストが、障害のある人の舞台芸術表現活動にまつわる企画ができるようになることを目指す育成事業となります。

本講座は入門コース（オンライン講座＋障害者の表現活動の映像 上映会）と企画・実践コース（福祉施設への視察＋企画発表）の2部門で実施し、企画・実践コースでは講座や全国各地の福祉施設への視察研修を通じて、障害当事者の生活状況や、施設の方々のケアのポイント、芸術とケアの接点や効果、アートと福祉を通じた地域社会のあり方について学びます。実際に自分たちの活動領域で実践できる企画(ワークショップや創作活動、鑑賞プログラム等)を立案、専門家の助言をもらいながら、実施できるまで考え発表します。

特設ページ <https://theatreforall.net/lecture2023-24/>

企画実践編 応募期間 2023年8月23日(水)20:00～9月18日(月・祝)23:59

実施スケジュール

オンライン講座：2023年9月13日(水)～12月5日(火) (全6回)

上映会 3作品：2024年1月上旬～2月17日(土) (新潟、福岡、東京、福島、京都 全5会場)

企画発表会：2024年2月28日(水) (ロームシアター京都 ノースホール)

【本事業お問合せ】株式会社precog (運営事務局)

MAIL：drif.performingarts@gmail.com TEL：03-6825-1223 (受付時間 平日10:00～17:00) 担当：星

講座内容詳細

入門編

講座と上映会を通じ、障害当事者との創作現場に必要な視点や考え方などを学ぶ基礎講座。

対象：劇場や文化施設の職員、アーティストなど全国各地の若手からシニアまで経験問わず受講可能
社会と舞台芸術のつながりを探している方

料金：通し券5,000円 (オンライン講座全6回、上映会3作品鑑賞、交流会1回)、講座1回券：1,500円

■ オンライン講座 (全6回)

「芸術文化の価値とは何か」

日程：2023年9月13日(水)19:30-21:00

講師：中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院・教授)

「舞台芸術系ワークショップの福祉施設での実践」

日程：2023年10月実施予定

登壇者：鈴木励滋 (生活介護事業所「カプカプ」所長/演劇ライター)、白神ももこ (振付家/演出家/ダンサー)

座談会「障害当事者の視点からいまの創造環境についてきく」

日程：2023年10月30日(月) 19:30-21:00

登壇者：石田智哉 (映画監督)、関場理生 (俳優/劇作家)、南雲麻衣 (パフォーマー/アーティスト)

林建太 (視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)

「舞台芸術における音声ガイドについて」

日程：2023年11月28日(火)19:30-21:00

登壇者：鯨エマ (演劇家/NPO法人シニア演劇ネットワーク理事長/舞台ナビLAMP代表/だれでもアーティストわくわく代表)

「障害当事者との企画を考えるということ」

日程：2023年12月5日(火)19:30-21:00

登壇者：牧原依里 (映画作家/アーティスト/一般社団法人 日本ろう芸術協会 代表理事)

※「合理的配慮から考える障害の社会モデル」10月上旬~11月中旬で実施予定 (近日情報公開)

■ 上映会

障害当事者の創作活動の現場で起こる実態とその創作環境、周囲の関わり方、障害当事者の表現にかける思いについて、ドキュメンタリー映画の鑑賞を通じて学ぶ。(上映会1作品：1,000円)

上映作品



- ・音の行方(2022年/日本/107分 (C) 映画『OTOASOBI』製作委員会) <https://www.whereabouts-of-sound.com/>
- ・こころの通訳者たち(2021年/日本/ドキュメンタリー/94分 (C) Chupki) <https://cocorono-movie.com/>
- ・へんしんっ! (2020年/日本/94分 (C) 2020 Tomoya Ishida) 公式HP: <https://henshin-film.jp/>

上映日程

2024年1月20日(土) 会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 スタジオA

2024年1月27日(土) 会場：福岡市美術館 ミュージウム ホール

2024年2月3日(土) 会場：いわきアリオス 大リハーサル室

2024年2月17日(土) 会場：ロームシアター 京都. ノースホール

※2024年1月~2月上旬 東京会場 実施予定。※関係者によるトークやパフォーマンス等、各上映会場にて実施。(近日詳細公開)

企画・実践編

オンライン講座、全国各地の福祉施設への視察研修を通じて、障害当事者の生活状況や、施設の方々のケアのポイント、芸術とケアの接点や効果、アートと福祉を通じた地域社会のあり方について学びます。実際に自分たちの活動領域で実践できる企画(ワークショップや創作活動、鑑賞プログラム等)を立案、専門家の助言をもらいながら、実施できるまで考え発表します。

■視察研修

「現場の声を聞く」

日時：2023年9月28日(木) 会場：川口太陽の家 工房集 (埼玉県川口市木曾呂1374)

「実践するPLAYの時間」

日時：2023年10月17日(火) 会場：たんぼぼの家 アートセンターHANA (奈良県奈良市六条西3丁目25-4)

「なんでそんなんプロジェクトからぬかが目指すカタチ」

日時：2023年11月21日(火) 会場：ぬかつくるところ (岡山県都窪郡早島町早島1465-1)

「まちの中の施設」

日時：2023年12月12日(火)会場：リベルテ (長野県上田市中央西1丁目9-5)

■企画検討会 (オンライン)

受講生内で3人1組を目安としたグループ分けを行い企画を立案していきます。
メンターへの相談やフィードバックを得ながら企画をまとめていきます。

日時：2023年11月7日(火)19:30-21:30
2023年12月19日(火)19:30-21:30
2024年1月23日(火)19:30-21:30
2024年2月13日(火)19:30-21:30

メンター：山川陸 (アーティスト)

■上映会ディスカッション (オンライン)

日時：2024年2月20日 (火) 19:30~21:30

■企画発表会

日時：2024年2月28日(水) 13:00-18:00 (予定)
会場：ロームシアター 京都 ノースホール
※講評フィードバック後日発表

= 企画実践編 募集要項 =

対象 ・舞台芸術にかかわる劇場・文化施設職員の企画者、舞台芸術団体制作者、アーティスト等
・メールでのやりとりが可能な方
・視察研修に最低1ヶ所以上現地参加ができる方
・2024年2月28日(水)ロームシアター 京都で実施の企画発表会に参加できる方

内容：入門編 (オンライン講座+上映会3作品)、オリエンテーション、視察研修 (全4回)、企画検討会 (全4回)
上映会ディスカッション企画発表会 (ロームシアター京都 ノースホール)

料金：一般：30,000円
U29：15,000円
※入門編通し受講料込み
※交通費補助上限50,000円あり

定員：15名

応募期間：2023年8月23日(水)~9月18日(月・祝)23:59

監修・ゲスト登壇者 プロフィール

監修者



長津 結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。障害のある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行なっているほか、ワークショップに関する教育、演劇・ダンスのマネジメントやプロデュースにも関わる。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（九州大学出版会、2018年）



文（NPO法人DANCE BOX 事務局長/「こんにちは、共生社会（ぐちゃぐちゃのゴチャゴチャ）」プロジェクト・チーフ）

神戸・新長田の劇場「ArtTheater dB KOBE」を拠点に、コンテンポラリーダンスのアーティストの育成事業や、障がいをもつ人や国籍の違う人・地域の人とつくる事業を展開。ダンスと身体、表現と社会、人と地域と劇場が出会い拡張する現場を考え続けている。「循環プロジェクト」（～2012）を経て、現在は盲・聾・車いす・義足等のメンバーによるダンスカンパニー「Mi-Mi-Bi」にも伴走中。

写真撮影：Junpei iwamoto

講師



中村 美亜 NakamuraMia

専門は文化政策・アートマネジメント研究。近年は芸術文化の価値と評価、社会包摂、認知症の人との共創的アートに関する実践的研究を行っている。訳書に『芸術文化の価値とは何か』（水曜社、2022年）、編著に『文化事業の評価ハンドブック』（水曜社、2021年）、単著に『音楽をひらく』（水声社、2013年）など。



鈴木 励滋 SuzukiReiji

1973年3月群馬県高崎市生まれ。97年から現職を務め、演劇に関しては劇団ハイバイのツアーパンフレットや「東京芸術祭」のウェブサイトなどに寄稿。「障害×アート」については、師匠の栗原彬（政治社会学）との対談が『ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える』（学芸出版社、2016年）に掲載されている。



白神 ももこ ShiragaMomoko

振付家、演出家、ダンサー。身近な日々のささいなできごとや願望などから着想を得たダンスを用いた作品創作を続けているダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」を主宰。全作品の構成・振付・演出を担当している。2020年、フェイスティバル/トーキョー20にてコロナ禍での作品としてミュージカル的ダンス・パフォーマンス『わたしたちは、そろっている。』を上演。四国学院大学、桜美林大学非常勤講師。



関場 理生 SekibaRio

1996年、東京生まれ。2歳で失明し全盲となる。東京都立総合芸術高等学校舞台表現科3期、日本大学芸術学部演劇学科劇作コース卒業。2021年、ジュニー・シーレー演出『テンペスト—初めて海を泳ぐには—』出演。2022年、神戸アートビレッジセンター主催、手話裁判劇『テロ』出演。現在、ナレーターとしてみみよみナレーション事務所やePARA Voiceに所属する他、ダイアログ・イン・ザ・ダークのアテンドとしても活動している。



南雲 麻衣 NagumoMai

平成元年生まれ。3歳半で失聴、7歳で人工内耳埋め込み手術を受ける。大学まで手話を知らずに音声言語のみで育ち、大学で日本手話に出会う。文化施設の運営とアートなどの企画の仕事の傍ら、ダンサー、アーティストとしても活動する。また、美術館や子ども向けの視覚言語ワークショップを積極的に行う。2022年4月より手話による文化創造拠点づくりを目指す「めとてラボ」連携プログラム担当。写真撮影：田中洋二



林 建太 HayashiKenta

1973年東京生まれ。1995年より介護福祉士として訪問介護事業に携わる。2012年より「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」発足。全国の美術館で、目の見える人、見えない人、さまざまな味方の方が「見る経験」について考える鑑賞プログラムを企画運営している。最近の主な活動は2017年から継続している東京都写真美術館での写真を楽しむ鑑賞プログラムなど。



鯨 エマ KujiraEma

劇団での俳優業のかたわら、障害者のヘルパーを副業にしたことをきっかけに2003年劇場のバリアフリーに着手、主に高齢者の演劇活動と視覚障害者の鑑賞サポート（音声ガイド）を行っている。現在は鑑賞サポートの人材育成とコーディネートのほか、新宿区内で高齢者劇団「かんじゅく座・半熟座」の作演出、奥多摩町で障害者とこどもの演劇創作「だれでもアーティストわくわく」を主宰し作品創作を進めている。



牧原 依里 MakiharaEri

ろう者の「音楽」をテーマにしたアート・ドキュメンタリー映画『LISTEN リッスン』（2016）を梶境（DAKEI）と共同監督、第20回文化庁メディア芸術祭アート部門審査員推薦作品等。最新作に『田中家』（2021）、舞台『聴者を演じるということ 序論』等。東京国際ろう映画祭ディレクター、ろう難聴俳優養成講座デフアクターズ・コース企画運営など、ろう・難聴当事者の人材育成とろう者と聴者が集う場のコミュニティづくりに努めている。写真撮影：Hiroshi Ikeda

メンター



山川 陸 Yamakawa Riku

Transfield Studio 共同主宰／一級建築士事務所山川陸設計 代表

誰かと共に考えるための状況を設計している。日々の生活と作品鑑賞、場所の関係から福祉施設を考える「劇場をつくるラボ」ディレクター（2021）／アートにまつわる相談所を運営する集まり「SNZ」の企画・運営（2020-）／土地と人の折り合いの歴史から都市を見直すツアーパフォーマンス『Lines and Around Lines』（2022）の発表など。2013年 東京藝術大学美術学部建築科卒業。

写真撮影：Natsuki Kuroda

主催者プロフィール



一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL

建築、ファッション、演劇やダンスなどのパフォーマンスアート、グラフィックデザイン、空間デザイン、インクルーシブデザインなどの専門家が、企画・運営する。多領域多視点から、文化・芸術に関するイベント・公演・シンポジウム・ワークショップ・レクチャー・トークショー、そのほか実験的な創造活動を推進するための事業を行う。<http://drifters-intl.org/>

主催：文化庁、一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL

企画・制作：一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL

運営：株式会社precog

【本事業お問合せ】株式会社precog（運営事務局）

MAIL：drif.performingarts@gmail.com TEL：03-6825-1223（受付時間 平日10:00～17:00）担当：星